P

ストップウオッチ HS-80TW

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

- ラップメモリー100本×2セット
- 1／1000秒計測
- 10時間計
- 時刻表示機能
- 5気圧防水
- インターバル計測用タイマー機能
- サッカー対応ストップウオッチ機能
- アラーム機能（12本）
- カウンター機能

製品仕様

■ ストップウオッチ

時間精度：99.9988%（常温）
計測単位：1／1000秒
計測範囲：上段 スプリット計測 9時間59分59秒999（10時間計）
中段 ラップ計測 59分59秒999（1時間計）
下段 通常計測 9時間59分59秒999（10時間計）
計測機能：通常計測、積算計測、ラップ・スプリット計測、1〜100着同時計測
ラップ、スプリットのタイムを最大100本×2セットまでメモリー

■ 時計

常温携帯精度：平均月差±30秒以内
表示内容：時・分・秒・午前／午後・年・月・日・曜日、ALM
フルオートカレンダー
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、
秒合わせ機能（±30秒アジャスト）
その他：自動復帰機能、12／24時間制表示切替え、MUTE

■タイマー

10インターバルタイマー
計測範囲：59分59秒
計測単位：1秒
リピート回数：100回
報音時間：10秒間

■アラーム

12本
報音時間：10秒間
セット単位：1分

■カウンター

通常カウンター：0〜99999
計時付カウンター：0〜99999
計測範囲：59分59秒
デュアルカウンター：0〜99999

■サッカー対応ストップウオッチ

計測範囲：59分59秒
計測単位：1秒
報音時間：10秒

■ 共通部

水晶発振周波数：32,768Hz
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI
表示方式：FE型液晶デジタル表示
使用電池：CR2032
電池寿命：約5年（1日当たりスイッチ操作を30回行なった場合）
使用温度：0℃〜40℃
大きさ・重さ：幅63.7×高さ83.2×厚さ23.5mm、82g

ご使用上の注意

防水性
- 5気圧防水ですので、雨や水がかかる程度の使用には、十分耐えますが、スキューバダイビング、サーフィンなどで身につけてのご使用はお避けください。
※ 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
※ 防水性を保つために定期的（2〜3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください（特殊な治具を必要とします。また、防水検査は別途有料となります）。

お手入れ
- ケースの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。

温度
- 直射日光が長く当ったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなったりすることがあります。

ショック
- 通常の使用状態でのショックや軽い運動には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁気
- 磁気の影響はありません。

静電気
- 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。
- 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

薬品類
- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管
- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 電池交換について

最初の電池
- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗
- 電池が消耗しますと「計測の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換
- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⦸ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

ストップウオッチが動かなくなった場合は、速やかに電池を交換してください。

取り扱いについて

提げ時計やペンダント時計、ストップウオッチなどは、ひもやチェーンによって首を絞めたり、ケガをしたりすることがありますのでご注意ください。

⚠ 警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

各部の名称と表示の見方

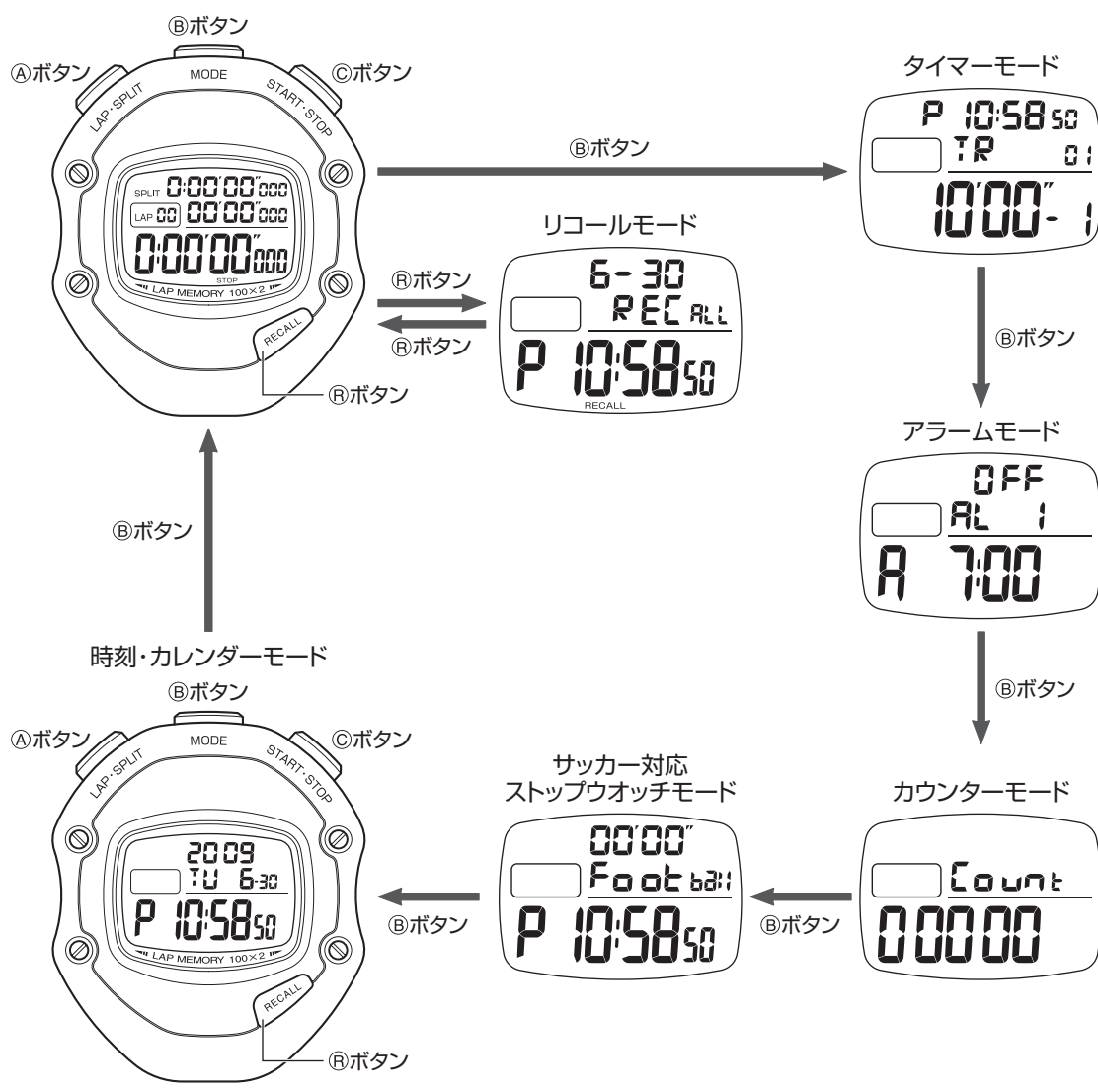
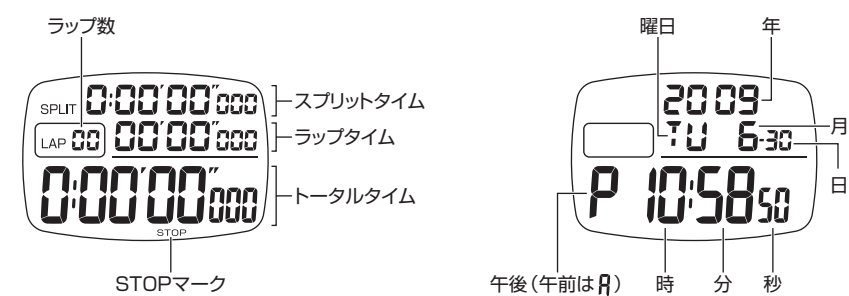
Ⓑ ボタンを押すごとにストップウオッチモード、タイマーモード、アラームモード、カウンターモード、サッカー対応ストップウオッチモード、時刻・カレンダーモードが切り替わります。
詳しくは各機能の項目をご覧ください。

ストップウオッチモード

Ⓐボタン　Ⓑボタン　Ⓒボタン　Ⓡボタン

ラップ数　スプリットタイム　ラップタイム　トータルタイム　STOPマーク

時刻・カレンダーモード

曜日　年　月　日　午後（午前はA）　時　分　秒

各ボタンはストップウオッチモードで以下のように機能します。

Ⓐ ボタン
ラップ・スプリット／リセット操作を行ないます（操作確認音が鳴ります）。

Ⓑ ボタン
押すごとにそれぞれのモードを切り替えます。

Ⓒ ボタン
スタート／ストップ操作を行ないます（操作確認音が鳴ります）。

Ⓡ ボタン
記録したラップ・スプリットタイムを呼び出す時、使います。

各計測タイムは以下の範囲まで計測します。

スプリットタイム：9時間59分59秒999（10時間計）
ラップタイム：59分59秒999（1時間計）
トータルタイム：9時間59分59秒999（10時間計）

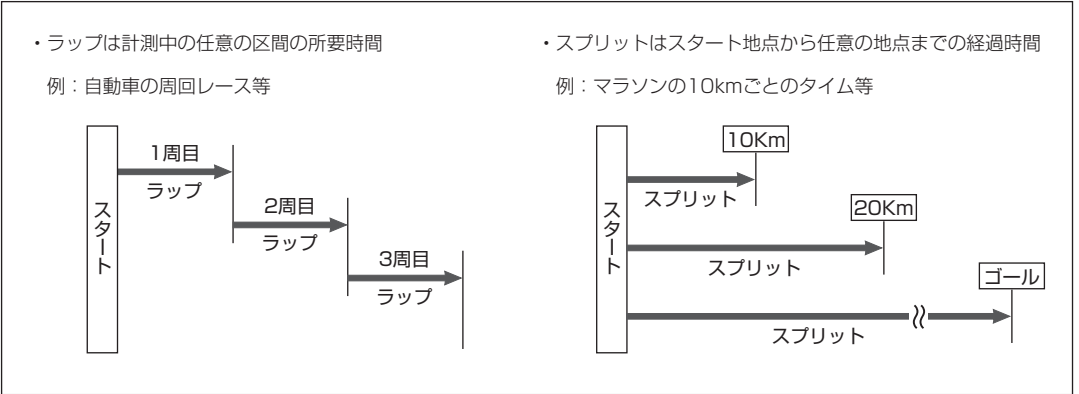
※ 機種により形状等が異なることがあります。

ストップウオッチ機能の使い方

本機は計測した時間（ラップタイム、スプリットタイム）が自動的に記録（メモリー）されます。記録されたラップタイム、スプリットタイムは計測中及び計測終了（ストップ）後に呼び出して見ることができます。

●ラップタイムとスプリットタイムについて

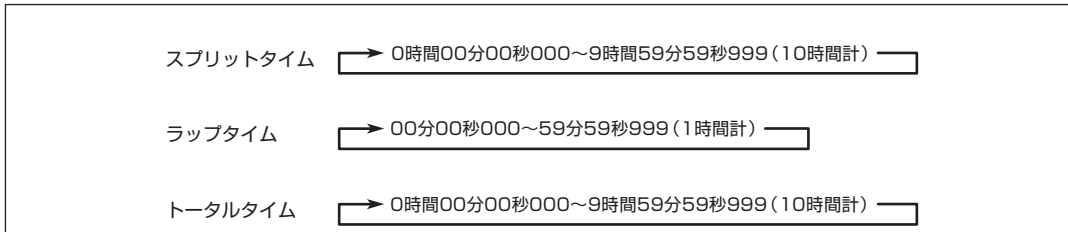
・ラップは計測中の任意の区間の所要時間
例：自動車の周回レース等
スタート　1周目 ラップ　2周目 ラップ　3周目 ラップ

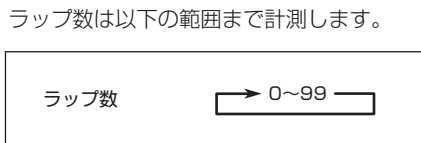
・スプリットはスタート地点から任意の地点までの経過時間
例：マラソンの10kmごとのタイム等
スタート　10Km スプリット　20Km スプリット　ゴール スプリット

●ラップ／スプリット表示の切替え

トータルタイム（下段の表示）をラップ表示にするか、スプリット表示にするか選ぶことができます。
ストップウオッチがリセット表示のとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます。

●計測範囲について

各計測タイムは以下の範囲まで計測します。

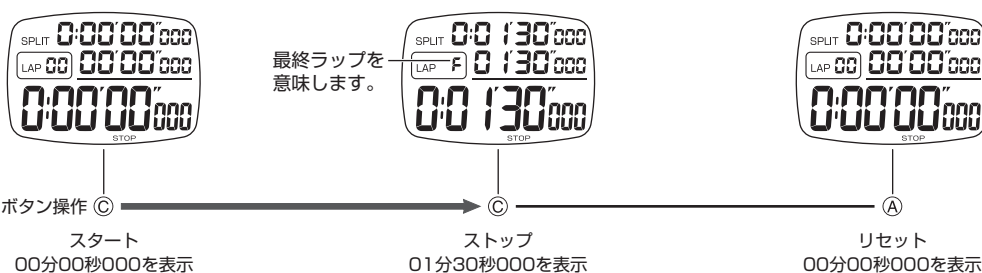
・計測範囲を越えた場合、表示は0に戻って計測を続けます。

●ラップ数について

ラップ数は以下の範囲まで計測します。

・ラップ数は99を越えると00に戻ってカウントを続けます（点滅）。

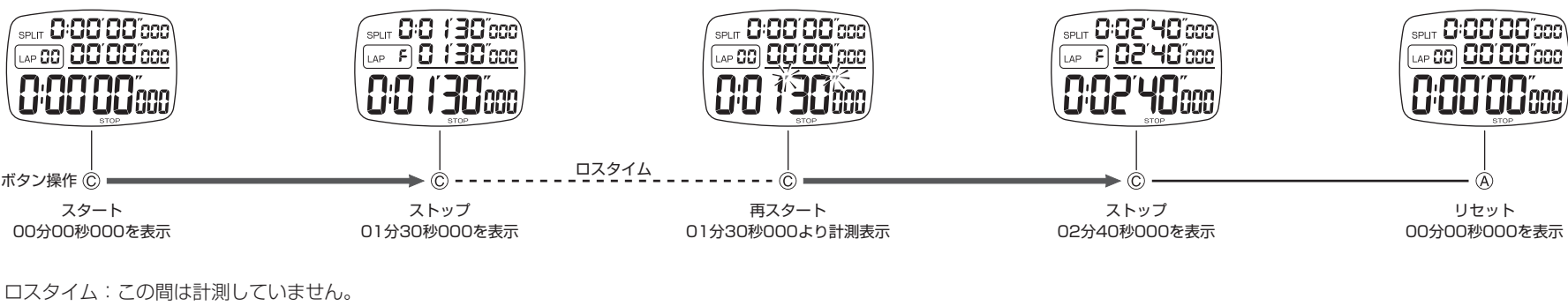
■ 計測のしかた（表示例はわかりやすくする為、わかりやすい数値を使用しています。）

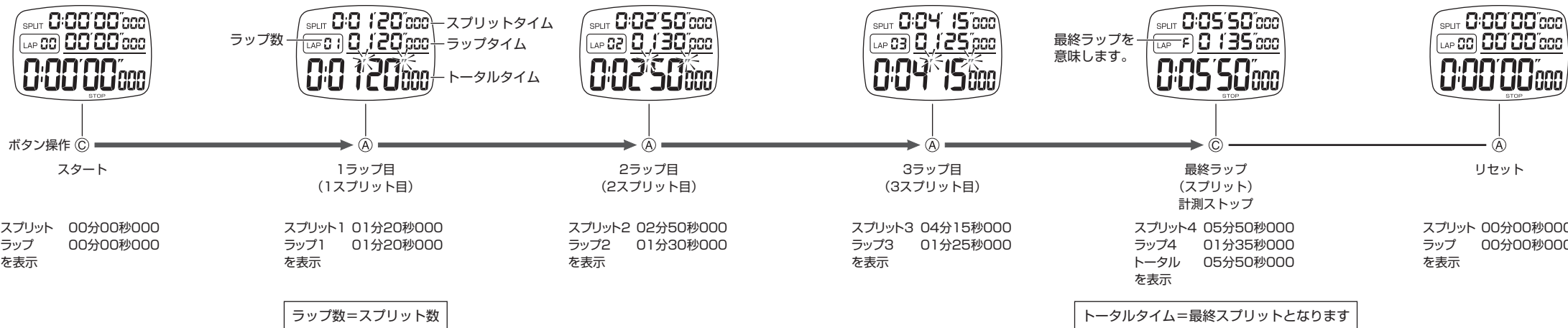
・ストップウオッチは使用していないときはリセット表示にしておいてください。

●通常計測

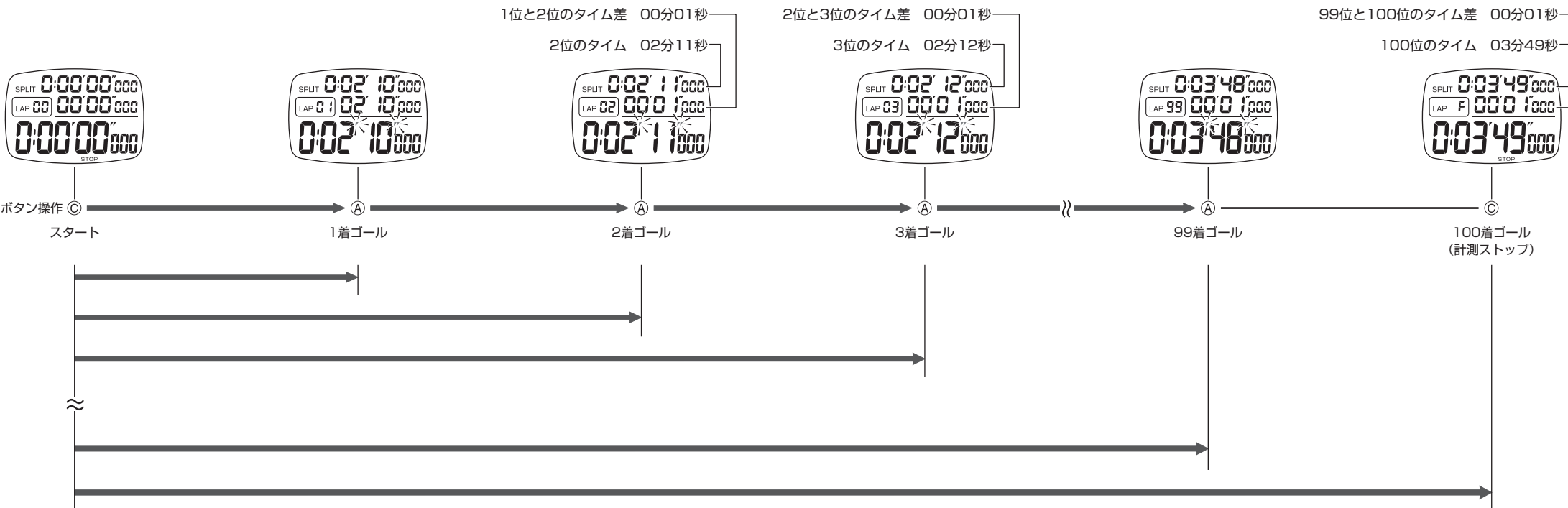
Ⓒ ボタンでスタート、ストップ操作。Ⓐ ボタンでリセット。

●積算計測

ロスタイムがある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓒ ボタンを押す）すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

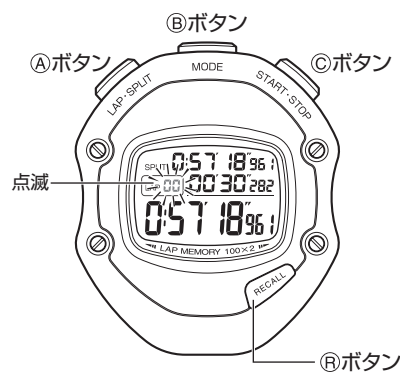
ロスタイム：この間は計測していません。

●ラップ・スプリットタイム計測

下記の図はラップ計測の場合を示していますが、ラップタイム計測もスプリットタイム計測もボタン操作は同じです。

※ 最後にゴールするときに Ⓒ ボタンを押します（計測はストップします）。
※ ラップ・スプリット計測でも積算計測は可能です。計測中に Ⓒ ボタンを押すと計測は停止します。もう1回押すと計測は再スタートします。

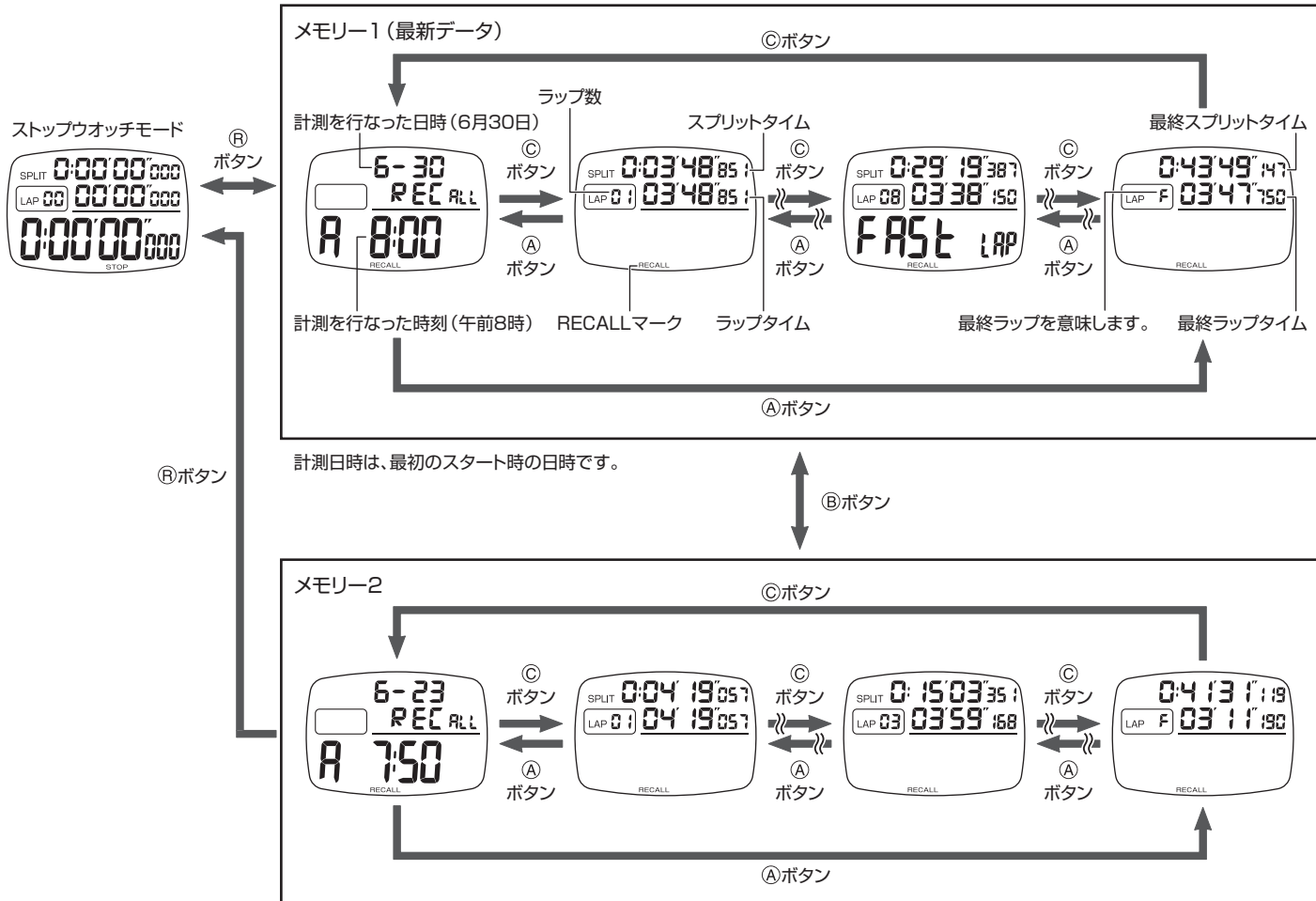
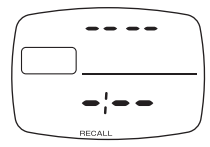
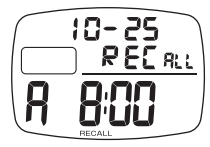
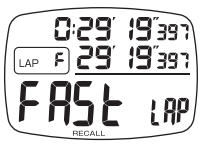
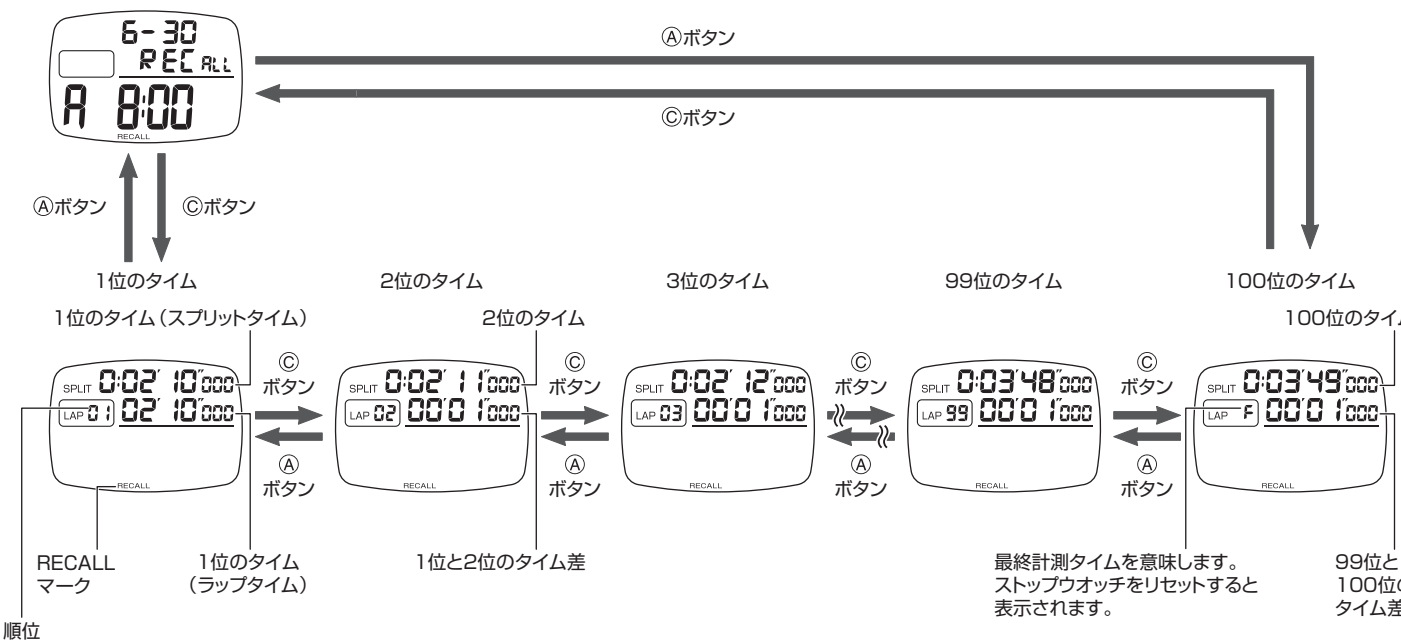
●1〜100着の同時計測

100本のメモリーを使って100人までのタイムを計測できます（1位が02分10秒でゴールし、2位以下が1秒毎にゴールした場合）。

※ 100人目の着タイムを計測するときは、Ⓐ ボタンではなく Ⓒ ボタンを押して計測をストップしてください。Ⓐ ボタンを押すと、最後に Ⓒ ボタンを押したときのタイムが100番目のメモリーに記録されますので、Ⓡ ボタンで呼び出したときに100着目のタイムとなりませんのでご注意ください。

メモリー（リコールモード）機能

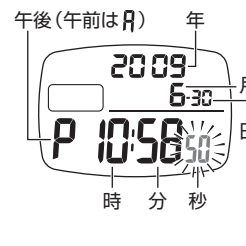
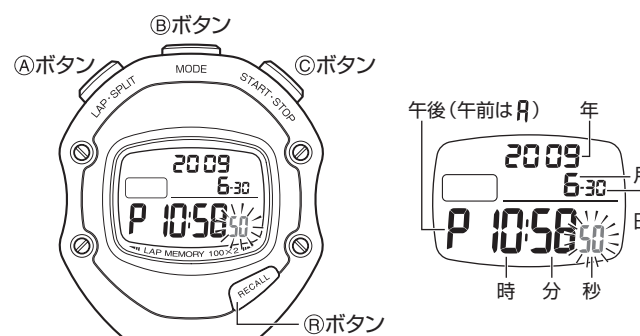
・ メモリーデータはリコールモードで見ることができます。
・ メモリーは最大100本×2セットまで記録できます。ラップタイム及びスプリットタイムが99本を越えたときに Ⓐ ボタンを押した場合、タイムは表示されますがメモリーには記録されません。
・ ストップウオッチをスタートさせた時に古い方のセットを消去し、新しいラップメモリーを行ないます。
・ FAST LAPは記録された100本のラップタイムの中から、最速なラップに対し表示されます。
・ ストップウオッチモードからリコールモードに切り替わる時は必ず最新データ(メモリー1)が表示されます。
・ ラップ数が100を越えた時点でメモリーが一杯になったことを知らせる為、ラップ数が点滅します（100から点滅）。
・ 記録されたラップタイム、スプリットタイムは計測中及び計測終了（ストップ）後に呼び出して見ることができます。
・ メモリーはストップウオッチモードでのリセット操作（Ⓐ ボタン）のあとのスタート操作（Ⓒ ボタン）でクリアされます。

●メモリーの呼び出し

・ Ⓐ ボタンを押し計測したラップ及びスプリットは、Ⓡ ボタンを押すと呼び出すことができます。
・ リコールモードで Ⓑ ボタンを押すごとに、メモリー1（最新データ）とメモリー2表示が切り替わります。

例　ラップ・スプリットタイム計測の場合（計測をリセットしたあとに Ⓡボタンを押します）

※計測中でも Ⓡ ボタンを押し、メモリーの呼び出しができます（計測はそのまま行なわれています）。

・ データが記録されていない時に、リコールモードにすると「ーー」と表示されます。
・ ストップウオッチが動作状態でラップを1本も取得していない場合、リコール画面はスタート日付のみ表示されます。
・ ラップを取らないタイムでリセットした場合、最終ラップと総合タイムは同一になり、かつFAST LAPと表示されます。

例　1～100着の同時計測の場合

※ 計測中でも Ⓡ ボタンを押し、メモリーの呼び出しができます（計測はそのまま行なわれています）。
・ リコールモードのままにしておくと、2～3分でストップウオッチモードに戻ります。

秒の合わせ方（30秒以内の遅れ進みの修正）

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。
・ストップウオッチの計測中、停止中などの状態を問わず時刻の修正は可能です。

（1） 時刻・カレンダーモードのとき Ⓡ ボタンを約2秒間押し続けると秒が点滅します。
　・ ストップウオッチモードで Ⓑ ボタンを5回押すと時刻・カレンダーモードに切り替わります。

（2） 時報に合わせて、Ⓒ ボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

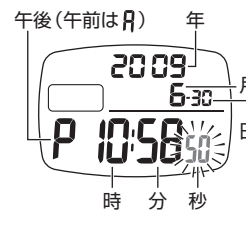
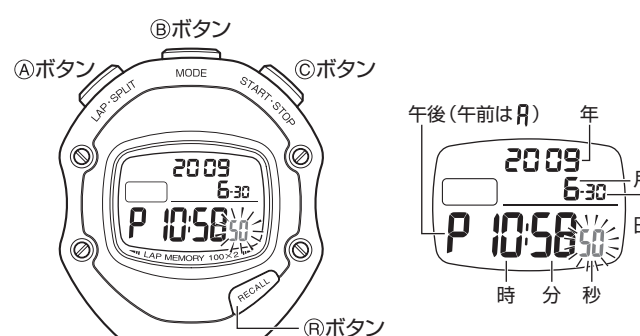
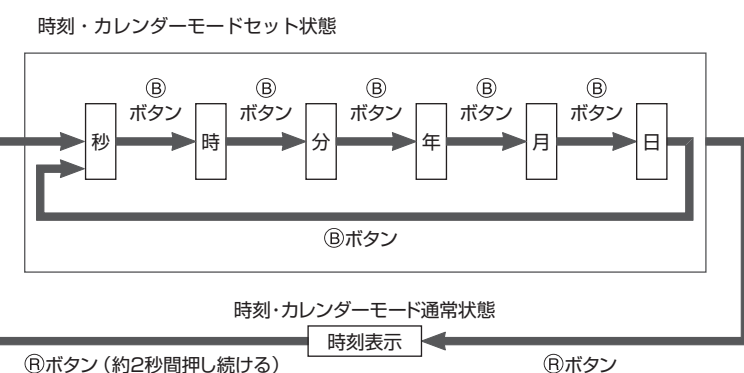
秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって、00秒からスタートします。

（3） Ⓡ ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

● 時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

（1） 時刻・カレンダーモードのとき Ⓡ ボタンを約2秒間押し続けると秒が点滅します。
　・ ストップウオッチモードで Ⓑ ボタンを5回押すと時刻・カレンダーモードに切り替わります。

（2） Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。
　点滅箇所がセット可能ですので、Ⓑ ボタンでセットしたい箇所を選びます。

（3） Ⓒ ボタンを押すと点滅箇所の数字が進みます。Ⓐ ボタンを押すと戻ります。
　※ Ⓒ ボタン、Ⓐ ボタンは押し続けると早送りができます。

Ⓑ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓒ ボタン、Ⓐ ボタンで表示をセットするという操作を繰り返し行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

※「時」のセットのとき午前（A 点灯）／午後（P 点灯）、24時間制にご注意ください。
※ 12／24時間制の切替えは時刻・カレンダーモード通常状態で Ⓒ ボタンを押すと切り替わります。
※ セット中は曜日は表示されません。

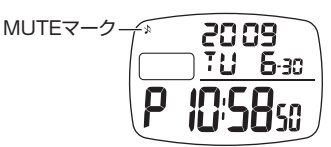
（4） セットが終わりましたら（どの箇所が点滅していても）Ⓡ ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

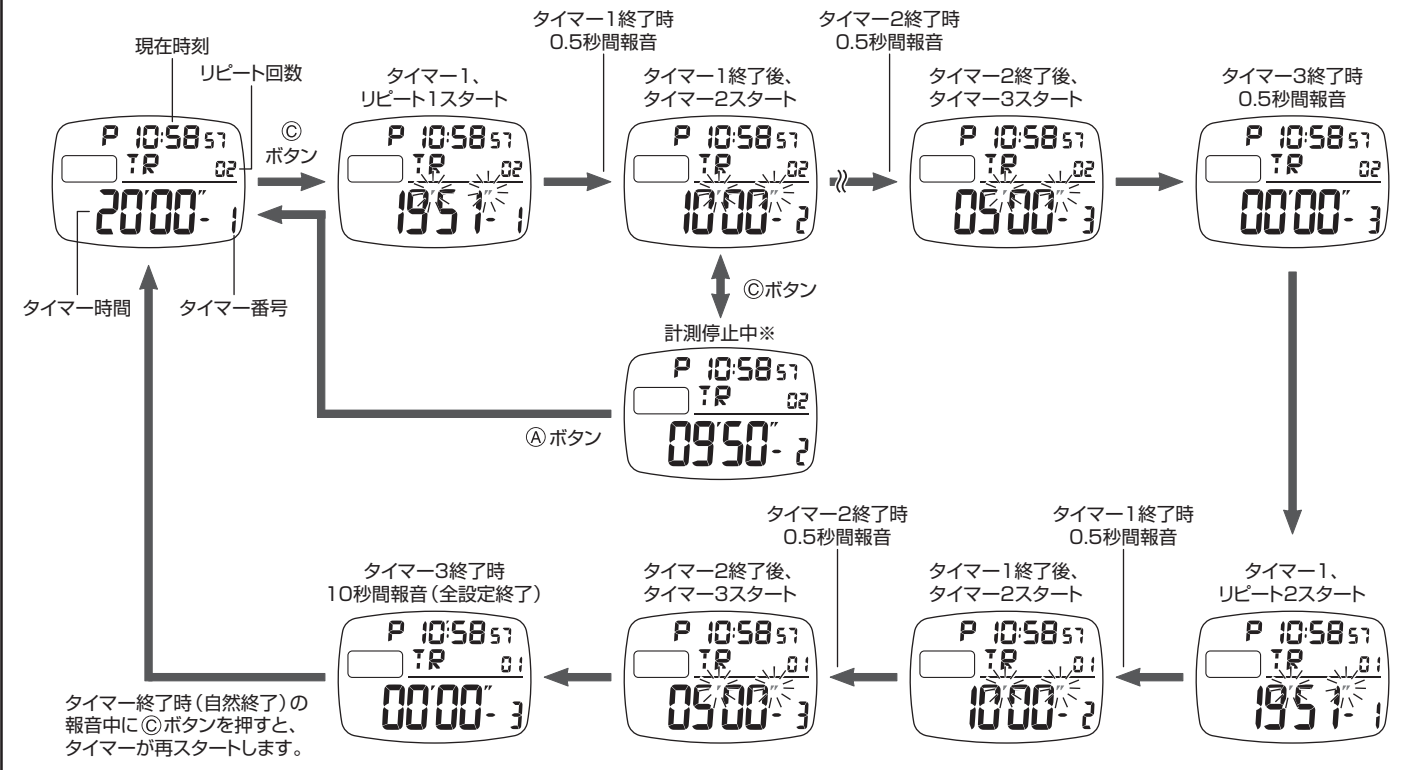
● カレンダーはうるう年及び大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

● 時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

●MUTE

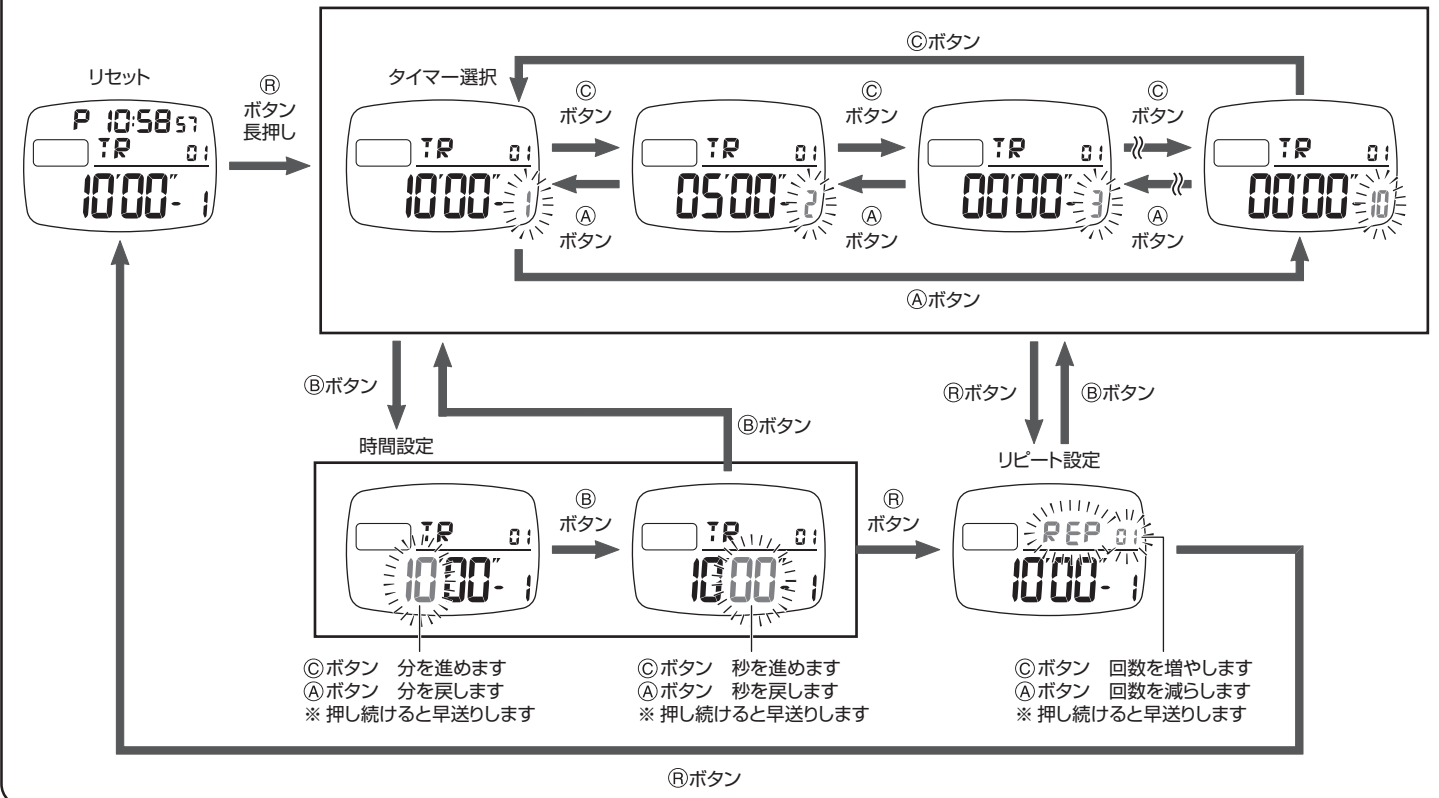
・ 時刻・カレンダーモードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けると、MUTE（消音）になります。
・ MUTEでは、操作音は鳴りません（アラームやタイマーの報音は鳴ります）。
・ MUTEを解除する場合は、Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます。

MUTEマーク

タイマー（インターバル計測用タイマー）機能

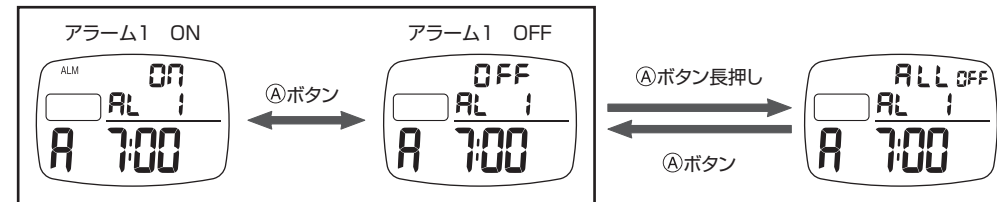
最大で10本のタイマー時間をセットし、順番に次々と計測を行なうことができるインターバル計測用のタイマー（減算計測）です。最大100回のリピート計測ができます。

●タイマーセット方法

タイマーは、初期の状態では以下の時間がセットされています。
　タイマー1　：10分
　タイマー2　：5分
　他のタイマー：0分

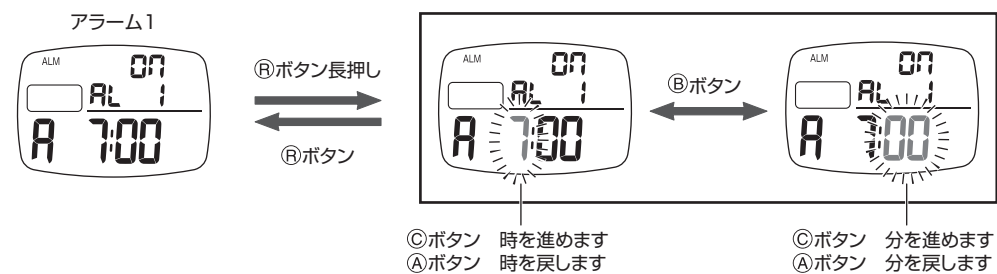
（1） タイマーモードのとき Ⓡ ボタンを長押ししてセット状態に入ります。
（2） Ⓒ・Ⓐ ボタンでタイマー1～10を選択します。
（3） Ⓑ ボタンで分・秒を切り替え、Ⓒ・Ⓐ ボタンでタイマーを設定することができます。
（4） Ⓡ ボタンでリピート設定画面に切り替え、Ⓒ・Ⓐ ボタンでリピート回数を設定することができます。
（5） Ⓡ ボタンを押すとタイマーモード表示に戻り、セット完了です。

・ セット画面のままにしておくと、2～3分でタイマー通常状態に戻ります。
・ タイマーを0～59分59秒の範囲でセットできます。
・ リピート回数は1～100回まで設定可能です。
・ インターバル本数は10本までセットできます。
・ インターバルタイマーは、1から10の順で計測を行ないます。00'00"がセットされているタイマーは計測を行なわず、次のタイマーが計測を行ないます。
※計測中に Ⓡ ボタンを長押ししても、タイマーの設定を変更できません。

アラーム機能

● アラームのON／OFF設定

・ アラームは時分を12本設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
・ ALL OFFはアラーム12本すべてをOFFにします。Ⓐ ボタンでALL OFFを解除した場合は、ALL OFF前の各設定に戻ります。
・ 鳴っている電子音は、いずれかのボタンを押すと止まります。

● アラーム時刻のセット方法

（1） アラームモードのとき Ⓒ ボタンを押してアラーム1～12を選択し、Ⓡ ボタンを長押ししてセット状態に入ります。
（2） Ⓑ ボタンで時・分を切り替え、Ⓒ・Ⓐ ボタンでアラームを設定することができます。Ⓒ・Ⓐ ボタンは押し続けると早送りができます。
（3） Ⓡ ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

・ アラームセット中に設定時間になってもアラームは鳴りません。
・ 時刻セット画面のままにしておくと、2～3分でアラーム通常状態に戻ります。
・ アラームセット表示にすると表示中のアラームはONになります。このときALL OFFも解除されます。

● デモアラーム

Ⓒ ボタンを押し続けるとアラーム音を試しに聞くことができます。

カウンター機能

・ 0～99999までカウントできます。
・ Ⓡ ボタンを押すごとに、通常カウンター、計時付きカウンター、デュアルカウンターと切り替わります。
・ カウンターの切替えは、リセット操作後に行なってください。

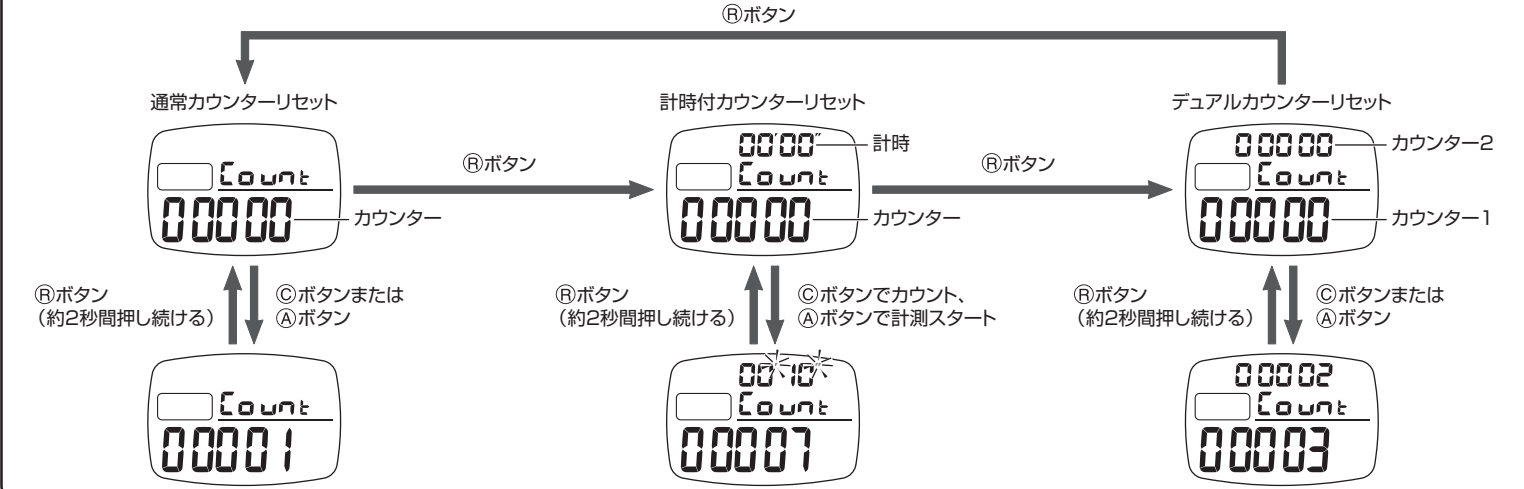
●通常カウンター

Ⓒ ボタンでカウントアップ、Ⓐ ボタンでカウントダウン、Ⓡ ボタンを約2秒間押し続けると、リセットされます。

●計時付きカウンター

Ⓒ ボタンでカウントアップ、Ⓐ ボタンで計測をスタート／ストップします。0～59分59秒まで計時できます。それ以降は0に戻って再カウントされます。

●デュアルカウンター

Ⓒ ボタンでカウンター1（下段）のカウントアップ、Ⓐ ボタンでカウンター2（上段）のカウントアップができます。

サッカー対応ストップウオッチ機能

サッカー競技等の試合時間とロスタイムを計測できます。

・ Ⓡ ボタンを約2秒間押し続けると、試合時間設定になり、試合時間（1～99分と「－－」）が設定できます。
・ 試合時間の設定は、Ⓒ ボタンを押すごとに1分ずつ進み、Ⓐ ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。
　※ Ⓒ・Ⓐ ボタンは押し続けると早送りします。
・ セット画面のままにしておくと、2～3分で通常状態に戻ります。
・ Ⓒ ボタンを押すと計測をスタートします。
・ 再度 Ⓒ ボタンを押すと上段の計測がストップします（下段は設定時間になるまで計測され続けます）。もう一度 Ⓒ ボタンを押すと上段の計測が再スタートします。
・ 設定時間になると10秒間電子音が鳴ります。「－－」の場合は試合時間が設定されていないため鳴りません。
・ 設定時間になったときに試合時間から上段の計測時間を引いた時間がロスタイムになります。